

自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 元 年 10 月 28 日

【事業所概要【事業所記入】】

| | | | |
|---------|-----------------|--------------|----------------|
| 事業所番号 | 3471502363 | | |
| 法人名 | 医療法人社団 ひがしの会 | | |
| 事業所名 | グループホーム えんじゅ | | |
| 所在地 | 福山市多治米町5丁目16-11 | | |
| | 電話番号 | 084-957-1311 | |
| 自己評価作成日 | 令和 元年 10 月 8 日 | 評価結果市町村受理日 | 令和 2 年 2 月 4 日 |

※事業所の基本情報は、介護サービス公表制度のホームページで閲覧してください。

| | |
|----------|--|
| 基本情報リンク先 | |
|----------|--|

【外部評価機関概要【評価機関記入】】

| | |
|-------|------------------|
| 評価機関名 | 一般社団法人 みらい |
| 所在地 | 広島県福山市山手町1020番地3 |
| 訪問調査日 | 令和 元 年 10 月 18 日 |

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点(事業所記入)】

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">・お客様やご家族に安心して頂けるように「心の通うサービス」を心がけています。・地域との馴染みのかんけいを築くため、町内会の活動に積極的に参加し、毎年ふれあい広場にお客様の作品を出展し、交流を深めている。・運営推進会議には、民生委員の方が参加して、意見を頂き、運営の助言を頂いている。 |
|---|

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

| |
|---|
| <p>住宅地の中にあり、すぐ近くに小学校がある。1階はデイサービスとなっている。2階が当事業所であり、窓から子供たちの声や下校時の姿が見られ、笑顔と元気をもらっている。併設している事業所の行事やボランティアの訪問時には参加し利用者さん同士の交流が出来る。また、職員同士が協力し合い、利用者の安全確保に努められている。ケア面も利用者との会話の時間を多く持ち、思いをくみ取り、利用者の立場に立ったケアを心掛け、その人らしく、生活歴を活かし、一日一日を大切に過ごしてもらえる様取り組まれている。食に関してもプロの料理人が作られた食事となっていて、食材も多く、栄養バランスに配慮され、目を楽しませる盛り付けで、食が楽しみとなっている。地域との関わりも民生委員の協力があり、地域の情報や助言等が多く得られ、地域の一員として行事に参加し多くの方と交流出来る様取り組まれている。また、職員のスキルアップの為の研修も定期的にも実施し、介護技術向上に努め、家族に安心してもらえる支援を心掛けている。管理者も職員も笑顔で優しく、個々の尊厳を大切にした対応に心掛け、利用者も職員も笑顔で支え合いながら生活出来る様、日々心がけている。家庭的な温かい雰囲気であると共に信頼できる事業所である。</p> |
|---|

自己評価および外部評価結果

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------|-----|---|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | (1) | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 湖山医療福祉グループの理念が決まり、ひがしの会の法人目標が決定する。法人目標をもとにグループホームえんじゅとしての事業所目標を決定し、ミーティングで話し、実践していく。 | 法人理念、法人目標、事業所目標を掲げ、それを基に個人目標を立て、半期に一度評価を行い達成に向け日々取り組まれている。ミーティングでも意識を持って実践する様周知している。 | |
| 2 | (2) | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 地域行事(夏祭り、ふれあい広場、とんど)には、お客様と参加し、地域ボランティア、秋祭りなどに施設に訪問してもらい交流を深めている。 | 町内会に加入し、清掃活動にも参加している。又、民生委員の声かけがあり、地域の夏祭りに参加したり、ふれあい祭りには利用者と共に作成した作品を展示する予定である。散歩時には近隣の方と会話される等、色んな方々との交流ができる様取り組まれている。 | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 地域の行事(ふれあい広場)に参加し、お客様の作品を出品する事でのような施設なのかご理解を頂いている。(パンフレット配布) | | |
| 4 | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 運営推進会議で勉強会などの後話し合いの場を設けている。地域の参加者も増え、定期的に2か月に1度開催している。 | 利用者家族(2名)民生委員(3名)包括職員等の参加の下、パワーポイントで日頃の様子を見てもらうと共に取り組み等を伝え、立場の違う方々の意見が得られサービスに活かしている。毎回議題を決めて行ったり、勉強会となる事もある。おやつを試食会をされ、感想等も頂いている。 | |
| 5 | (4) | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる | 運営推進会議には前もって連絡をし、参加の依頼をしている。その他、判断に困った時には、福山市介護保険課に連絡、確認をして、法令順守に努めている。 | 疑問点や困難なことが起きた場合は、相談し、アドバイス等してもらっている。運営推進会議への参加がなかなか得られないが時折折出向き取り組み状況等は報告し協力関係を築く様務めている。包括主催の情報交換会にも参加し、包括との連携は取れている。 | |
| 6 | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 契約書に規定を載せており、玄関にも定時している、職員には勉強会等で周知している。 | 基本身体拘束はしない方針であり、玄関の施錠を含め身体拘束はしていない。常に見守りで対応し、制止せず、自由にしてもらっている。不穏になった場合は気分を変えてもらう工夫をされ対応している。研修も行い正しく理解されている。 | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 研修会などで学び、虐待防止に努めている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|-----|--|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 今後、勉強会を実施していきます。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 契約時には必ず説明を行い、不安や不満が無いように努めている。 | | |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 年に一度アンケート調査を行い、全家族様の意見を集約してサービスの向上に努めている。 | 訪問時、現状を報告する際、意見や要望を引き出すように努めている。また、年1回満足度アンケートを実施し、結果や意見に対する改善点等を各家族に報告すると共に色々な場面での意見等は運営に反映させている。毎月お便り(現状、行事等の報告)に写真を沿え送付している。 | |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 各ミーティングなど機会を設け、意見や提案を聞く機会を設けている。 | 日頃、気づきがあれば即言える環境である。ミーティングでも提案や意見等を聞く機会を設けている。半期ごとに個人面談があり、その中でも聞くように努めている。それぞれの場面での意見等は反映させている。 | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 目標管理シートを作成し、個々の目標達成に向けて取り組んでいる。6ヶ月に一度は管理者との面談を行っている。 | | |
| 13 | | ○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 法人内の研修や外部の研修にも参加できる環境を提供している。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 自施設での勉強会に他事業所の職員などを招いて開催する勉強会の企画を行っている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------|-----|--|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | アセスメント表を作成する上で、ご本人様の要望などを聞かせて頂いている。 | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | アセスメント表を作成する上で、ご本人様の要望などを聞かせて頂いている。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | アセスメント・計画作成の中に家族様と本人の意向を組み取りケアプランに反映させている。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | ご本人様のできる事は尊重し、過剰介護にならないように対応している。 | | |
| 19 | | ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | ご家族の要望を達成できるように連携し確認を取りながらサービス提供を行っている。 | | |
| 20 | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 来訪される馴染みの方には、過ごしやすい環境を用意し、面会に来て頂きやすいように工夫している。 | 親戚や友人の訪問や家族と外食、外出したり、馴染みのカラオケに行かれ、昔一諸に行かれていた友達と楽しめる方もいる。また、ドライブに出かける事で懐かしい風景に出会える機会を持つようになっている。希望でお墓参りにお連れする事もあり、関係が途切れない様柔軟な支援を心掛けている。 | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 1人ひとりの性格を把握し、尊重し合えるように支援している。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------------|------|--|------------------------------|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 契約終了後も、ご家族様の知りたい情報を提供している。 | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | (9) | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | アセスメント・カンファレンス等で話し合い、反映している。 | 日々の会話やふとした言葉から汲み取ることがある。少しの時間でも声かけをし、思いを把握するように努めている。口頭で外出や食べ物、買い物等の希望を言われる。出来る限り思いに沿うようにしている。表出困難な方は表情や行動から把握し検討している。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | アセスメント・カンファレンス等で話し合い、反映している。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | アセスメント・カンファレンス等で話し合い、反映している。 | | |
| 26 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | アセスメント・カンファレンス等で話し合い、反映している。 | 家族、本人の要望、主治医の所見等、また、カンファレンスで個々のニーズや課題について職員の意見や必要な関係者の意見を基に担当者会議で検討し、作成している。モニタリングは毎月、見直しは3ヶ月ごととしている。家族の承諾も得ている。 | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | アセスメント・カンファレンス等で話し合い、反映している。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | 法令順守の中で、できる事は取り組んでいる。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | ご本人様のADLに合わせて、できる事を増やして頂くアプローチを行っている。 | | |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | ご本人様、ご家族様の意向の病院を受診している。 | 利用開始時、希望を聞き対応している。協力医療機関の往診が月2回、訪問歯科支援もあるが家族の希望の歯科に行かれる方もいる。皮膚科は依頼すれば往診してもらえ。情報は細かく職員が主治医に伝えると共に結果についても家族にその都度報告し共有している。 | |
| 31 | | ○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 訪問看護ステーションと連携し、病状の早期発見、早期治療につながるよう心がけている。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 病院等への連携を十分にとり、早期退院できるように、努めている。 | | |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | ターミナルケアが必要となった場合は、ご家族様、協力病院、主治医、訪問看護、事業所スタッフでの連携を取り、看取りの勉強会をしている。 | 利用開始時、指針を基に説明し理解が得られている。重度化した場合は主治医から家族に説明され、家族に意向の確認を行い、希望であれば、事業所として出来ること出来ないことの説明をし、家族、主治医、訪問看護師等で方針を共有し、チームで支援されている。体験もされ家族からお礼の言葉も頂いた。看取り研修も実施している。 | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 普通救命講習を実施した。中途採用研修等で緊急対応の勉強会を行っている。 | | |
| 35 | (13) | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 年2回、消防訓練を実施している。 | 消防署指導、自主等の訓練を年2回実施し、実践力を身につける様務めている。水害についての地域会合にも参加し地域の一員として共に協力できる様取り組まれている。運営推進会議でも報告し協力をお願いもしている。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------------|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | えんじゅ9禁を提示している。 ISO内部監査で評価をし、実践している。 | マニュアルを基に研修を定期的に行っている。排せつや入浴等、プライバシーを損ねない対応に心掛けている。お互い気付いた時には注意し合っている。個々の尊厳を大切に声かけ、人生の先輩という事を常に念頭に置き支援する様周知している。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | アセスメント等で、聞き取りをし、お客様の希望を表現できるように声かけをしている。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | サービス計画書により、本人様の要望を聞きケアプランチェック表で確認している。 お客様のできる事をして頂き、その方のペースで日々を過ごして頂いている。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 整容は毎日朝の更衣の時に頂く。 爪切り・散髪は定期的に行っている。 | | |
| 40 | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 日々の会話の中でお客様の食べたい物を聞き出し、献立に反映している。 食事の準備や、片付け等、できる事は一緒にするように心がけている。 | 食材も多く、バランスも良く、また、目で楽しめる盛り付けとなっている。品数も多く、豪華な食事である。また、食べやすく皆さん完食である。個々のペースに合わせ急がさずゆっくりと食を促す声かけや介助しながら楽しみの時間となっている。出来る方には出来ることをしてもらい、張りのある生活に繋げている。 | |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 水分摂取・バイタルチェック表を作成して、個々の状態を把握している。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 食事の後は、口腔ケアを実施している。 入れ歯のかみ合わせが悪い方は、家族様に相談し、訪問歯科を利用し、調整をしてもらっている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | お客様の状態に合わせ、トイレに座って頂き、排泄の介助を行っている。 | 各居室にトイレ、洗面台がある。その人のペースで声かけをされ、トイレでの排泄に努め、座位、立位をしてもらう事で生活習慣と機能維持に繋げる支援をしている。居室のトイレなので安心して排泄できる。排便チェックもされ、不穏にならない様務めている。 | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 朝起きたら、水分の摂取をしてもらうように心がけている。 起床時は牛乳の提供をしている。 | | |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている | ご本人様に声かけをし、気持ちよく入浴が出来る環境を提供している。 | 週2～3回、時間帯は午後となっている。希望があれば回数に関係なく、いつでも入浴できる。拒否の方には毎日声かけをすると共に好みの職員で対応する等工夫をし清潔保持に努めている。清拭となる場合もある。決して無理強いはいしない。 | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | その日の体調により、お部屋で過ごされたり、体操や、塗り絵等をしてもらっている。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 薬局が居宅療養管理指導をお客様と契約しており、配薬をしている。 服薬時には、職員間で確認をし合い、服用して頂いている。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 日中は散歩に出たり、誕生日には希望を聞き、外出等をして、楽しんで頂いている。 | | |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 日中の天気の良い日には、散歩に行かれる。ドライブ等の行事を企画し、気分転換を図ってもらっている。 | 四季の外出(お花見等)やサービスエリアにバラを見に行かれたり、希望で買い物やドライブにも出かけている。家族の協力を得て動物園に行かれた事もある。福山城へ菊花展を見に行く予定もある。又、家族と外食したり、散歩したり、外気に触れる機会や気分転換、五感刺激、楽しみ毎の支援に努めている。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 現在は、希望されるお客様がいないので預かってはいない。家族様の了承のもと対応できるように支援していく。 | | |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 希望があれば、対応していきます。 | | |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | リビングに写真を貼ったり、季節感が分かるよう、ディスプレイをしています。 | 季節が感じられる装飾品や利用者の笑顔の写真も飾られている。広い畳スペースもあり、吐き出しの窓から小学校が見られ、生徒の下校時の声や姿を見ることで元気をもらっている。リビングの壁には習字やぬり絵、時々表情のある利用者の写真も貼られている。不快な匂いもなく明るく、清潔にも配慮され、快適に過ごせる共有の場となっている。 | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 仲の良いお客様がお話ができる様、椅子の配置を工夫して過ごして頂いています。 | | |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | ご家族様と相談をして、使い慣れたものを持ってきて頂けるよう、お話をしています。 | テレビや家具(タンス、ベット、イス)等が持ち込まれている。思い出の写真も飾られている。時計も置かれ時の認識に繋がれると共に自宅に近い環境づくりで違和感なく落ちついて過ごせる様な工夫をされている。 | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 定期的なアセスメントを行い、事故が無いように、努めている。 | | |

V. サービスの成果に関する項目【アウトカム項目】

| 項目 | | 取り組みの成果(該当するものに○印) | | 項目 | | 取り組みの成果(該当するものに○印) | |
|----|---------------------------------------|--------------------|--------------|----|---|--------------------|--------------|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる | ○ | ①ほぼすべての利用者の | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | ○ | ①ほぼすべての家族と |
| | | | ②利用者の2/3くらい | | | | ②家族の2/3くらい |
| | | | ③利用者の1/3くらい | | | | ③家族の1/3くらい |
| | | | ④ほとんど掴んでいない | | | | ④ほとんどできていない |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある | ○ | ①毎日ある | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている | | ①ほぼ毎日のように |
| | | | ②数日に一度程度ある | | | | ②数日に1回 |
| | | | ③たまにある | | | ○ | ③たまに |
| | | | ④ほとんどない | | | | ④ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている | ○ | ①ほぼすべての利用者が | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている | | ①大いに増えている |
| | | | ②利用者の2/3くらいが | | | | ②少しづつ増えている |
| | | | ③利用者の1/3くらいが | | | ○ | ③あまり増えていない |
| | | | ④ほとんどない | | | | ④全くない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き活きた表情や姿が見られている | ○ | ①ほぼすべての利用者が | 66 | 職員は生き活きと働けている | ○ | ①ほぼ全ての職員が |
| | | | ②利用者の2/3くらいが | | | | ②職員の2/3くらいが |
| | | | ③利用者の1/3くらいが | | | | ③職員の1/3くらいが |
| | | | ④ほとんどない | | | | ④ほとんどない |
| 60 | 利用者は戸外の行きたい所へでかけている | | ①ほぼすべての利用者が | 67 | 職員から見て利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | ①ほぼ全ての利用者が |
| | | ○ | ②利用者の2/3くらいが | | | | ②利用者の2/3くらいが |
| | | | ③利用者の1/3くらいが | | | | ③利用者の1/3くらいが |
| | | | ④ほとんどない | | | | ④ほとんどない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている | ○ | ①ほぼすべての利用者が | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | ①ほぼ全ての家族等が |
| | | | ②利用者の2/3くらいが | | | | ②家族等の2/3くらいが |
| | | | ③利用者の1/3くらいが | | | | ③家族等の1/3くらいが |
| | | | ④ほとんどない | | | | ④ほとんどできていない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている | ○ | ①ほぼすべての利用者が | | | | |
| | | | ②利用者の2/3くらいが | | | | |
| | | | ③利用者の1/3くらいが | | | | |
| | | | ④ほとんどない | | | | |

(別紙4(2))

事業所名: グループホームえんじゅ多治米

作成日: 令和 元 年 11月 13 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|--|---------------------------------|---|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 10 | アンケートに環境整備についてのご意見が数件でていた。改善をし、気持ち良く生活をして頂く。 | 次年度のアンケート(環境整備)について、ご意見の向上を目指す。 | 環境整備(清掃など)のマニュアルの見直し、次年度のアンケート結果に今年度よりも良い評価を頂く。 | 12ヶ月 |
| 2 | | | | | |
| 3 | | | | | |
| 4 | | | | | |
| 5 | | | | | |

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。